

エネルギーモニタユーティリティ3 取扱説明書

Windows8、Windows8.1 共通

目次

1. はじめにお読みください	1
2. ソフトウェアのインストール	3
3. ドライバー署名の強制を無効にする	5
4. USBドライバーのインストール	9
5. エネルギーモニタユーティリティ3の操作方法	14
6. アンインストール方法	16
6-1. USBドライバーのアンインストール	16
6-2. ソフトウェアのアンインストール	19
7. トラブルシューティング	20

cic 長州産業株式会社

1.はじめにお読みください

<ご利用条件>

- ・本ソフトウェアは長州産業株式会社（以下、当社という）製太陽光発電システム向けカラー表示ユニットの履歴データ転送機能を利用するためのものです。

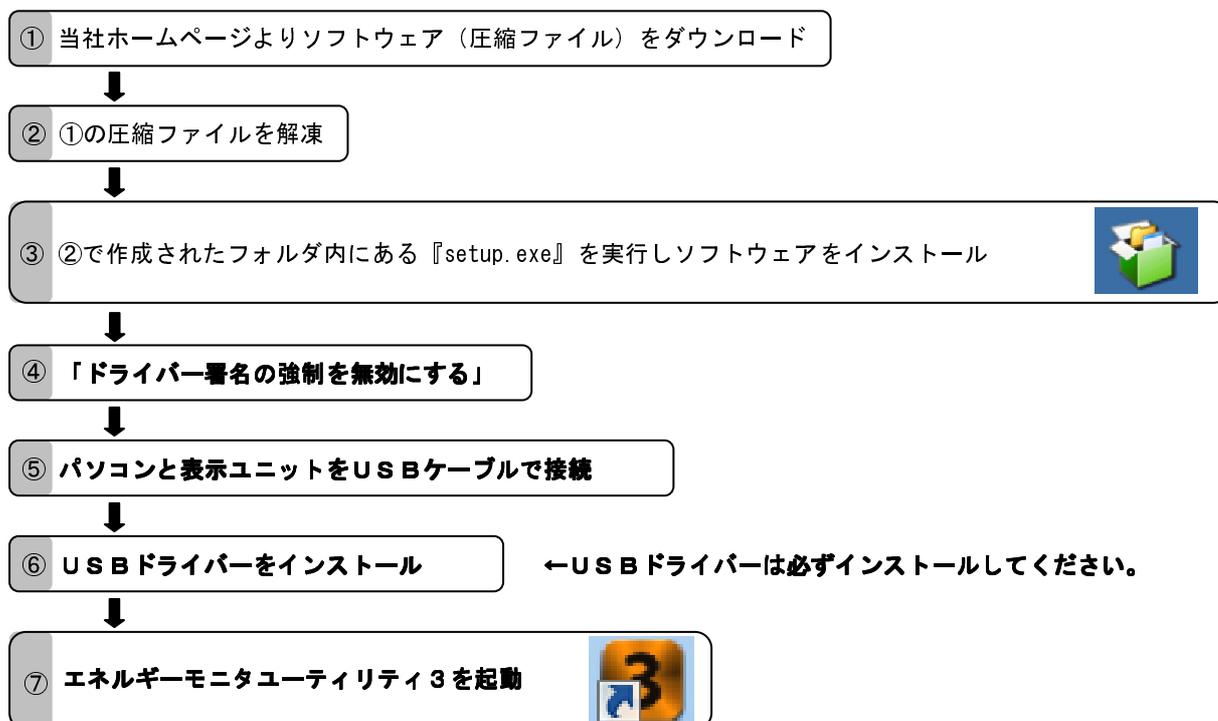
対象品番： CMCS-03-A-W
 CMCS-03-B-W
 CMCS-03-C-W
 CMCS-03-Z-W

- ・本ソフトウェアの対応OSはMicrosoft Windows Vista SP2、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1です。ただし、全てのパソコン環境について動作を保証するものではありません。機種及びパソコン環境によっては動作しない場合があります。また、上記以外のOSにつきましては動作保証外となります。
- ・本説明書の対応OSは**Microsoft Windows 8、Windows8.1**です。他のOSとは操作手順が異なります。
- ・本ソフトウェアを使用するためにパソコンと表示ユニットをUSBケーブル(A-miniB タイプ)で接続する必要があります。USBケーブル(A-miniB タイプ)は付属しておりません。**市販品のUSBケーブル (A-miniBタイプ)をご準備ください。**
- ・本ソフトウェアのダウンロードおよびインストール作業はお客さまの責任において行ってください。
- ・本ソフトウェアはパソコンとカラー表示ユニットを接続して履歴データを転送するためにのみ使用してください。
- ・本ソフトウェアの著作権は当社に帰属します。
- ・本ソフトウェアを許可なく転載・配布・商業行為に使用しないでください。
- ・本ソフトウェアを解析・変更または改造行為を行わないでください。
- ・本ソフトウェアは日本国内でのみ使用してください。
- ・本ソフトウェアはバージョンアップなどにより予告なく仕様を変更することがあります。
- ・本ソフトウェアにより生じたいかなる損害についても、当社はその責任を負いません。
- ・Microsoft Windows、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1はMicrosoft Corp. の登録商標です。

1.はじめにお読みください

<はじめに>

- ・本機能を使用するためには次の作業が必要になります。



※インストールは Administrator ユーザーまたは管理者権限のあるユーザーにて行ってください。

- ・本ソフトウェアで転送できる履歴データは次の通りです。

発電電力量 (kWh)、消費電力量 (kWh)、売電電力量 (kWh)、買電電力量 (kWh)

(外部発電機器を設定している場合は外部発電電力量 (kWh)が、蓄電池を設定している場合は充電量 (kWh)、放電量 (kWh)が転送されます。)

	ファイル名	データ記録間隔	データ範囲
日間データ	年+月+日+時刻+日間.csv	1時間	32日間
月間データ	年+月+日+時刻+月間.csv	1日間	13ヶ月間
年間データ	年+月+日+時刻+年間.csv	1ヶ月間	10年間

- ・履歴データはCSVファイルでパソコンへダウンロードされます。表計算ソフト (Excel) で開いてください。

- ・本書に掲載している画像と実際の画像には若干異なる場合があります。

2. ソフトウェアのインストール

ソフトウェア（エネルギーモニターユーティリティ3）をパソコンにインストールする手順について説明します。

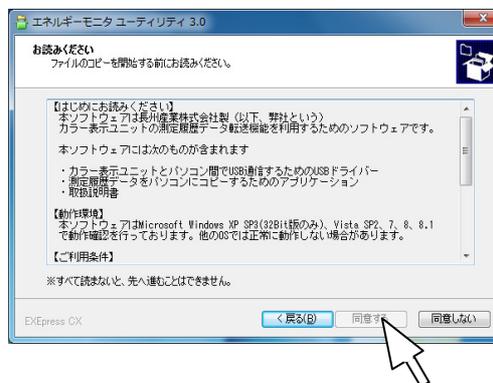
※表示ユニットとパソコンはまだUSBケーブルで接続しないでください。

※インストールはAdministrator ユーザーまたは管理者権限のあるユーザーにて行ってください。

- (1) ホームページよりダウンロードした圧縮ファイルを解凍すると、フォルダが作成されます。このフォルダの中にある、『setup.exe』をダブルクリックしてください。右のインストールウィザード画面が表示されたら【次へ】をクリックしてください。

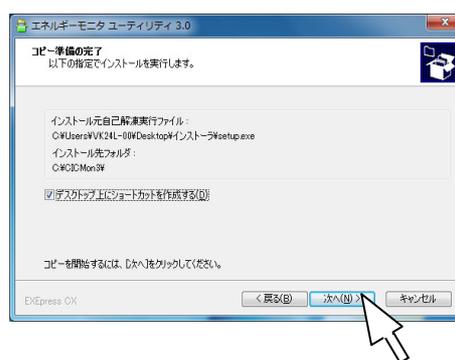


- (2) 右の画面が表示されますので、すべてを読み頂き【同意する】をクリックしてください。



- (3) 右の画面が表示されたら、【次へ】をクリックしてください。

※デスクトップ上にショートカットを作成する場合はチェックボックス(☑)をチェックしてください。



- (4) 右の画面が表示されたら、【完了】をクリックしてください。

Cドライブに『CICMon3』フォルダが作成されます。デスクトップにショートカットが作成されます。また、スタートメニューに『エネルギーモニターユーティリティ3』が作成されます。



2. ソフトウェアのインストール

(5) (4) で作成されたCドライブの『CICMon3』フォルダには次のものが含まれます。

 doc	→	取扱説明書が入っているフォルダ
 Driver	→	表示ユニットとパソコン間でUSB通信するためのUSBドライバー
 EneMonUty3.exe	→	履歴データをパソコンに転送するためのアプリケーションソフト
 repuninst.exe	→	使用しません

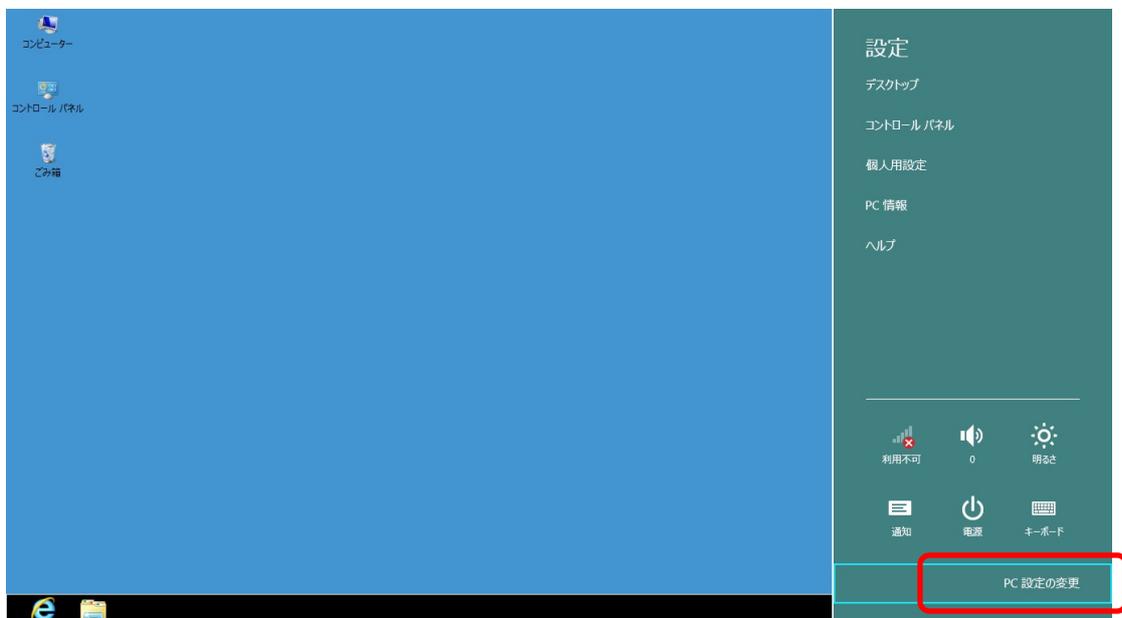
3. ドライバー署名の強制を無効にする

USBドライバーをインストールするには「ドライバー署名の強制を無効にする」操作が必要になります。「ドライバー署名の強制を無効にする」手順は次の通りです。

- ① デスクトップ画面上で  (Windows キー) +  (I (アイ) キー) を同時に押します。



- ② 画面右側に設定チャーム画面が表示された後、「PC設定の変更」をクリックします。
(以下、「クリック」についてはタップまたは画面タッチでも構いません。)

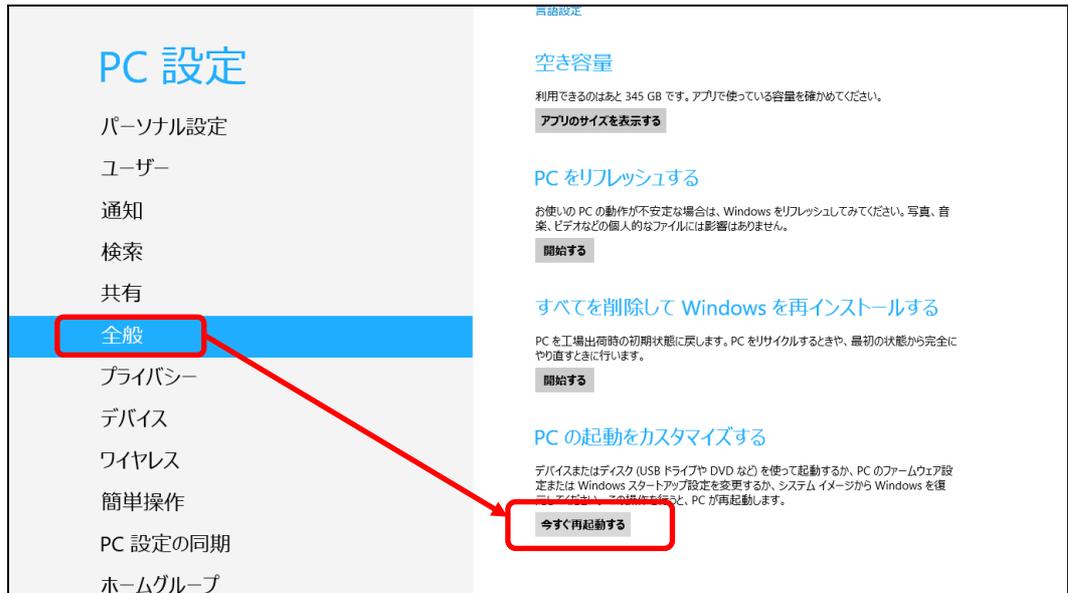


3. ドライバー署名の強制を無効にする

③ PC設定画面

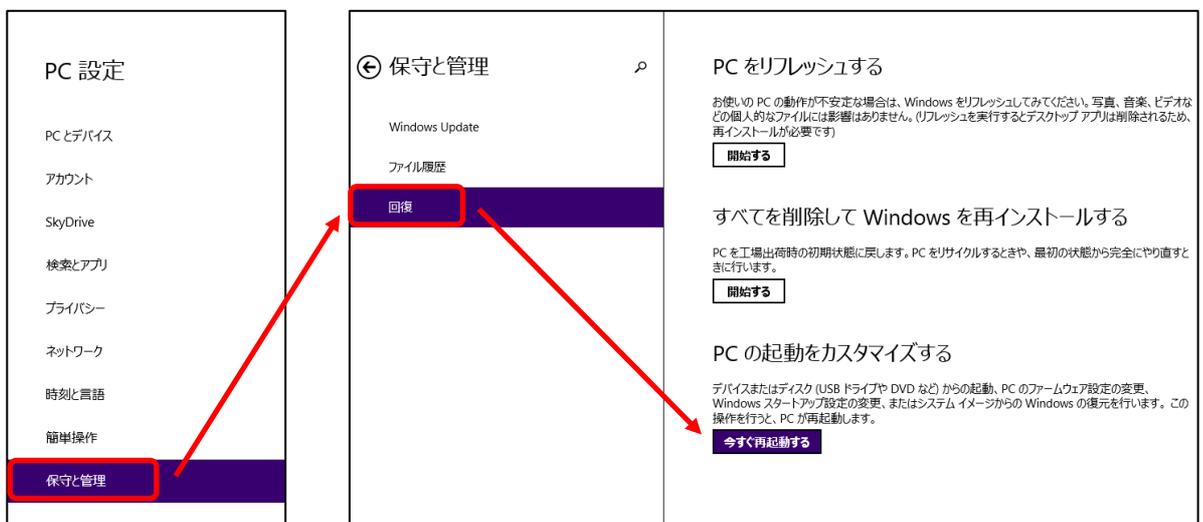
【Windows 8の場合】

PC設定の画面上で「全般」をクリックします。画面右下にある「今すぐ再起動する」をクリックします。



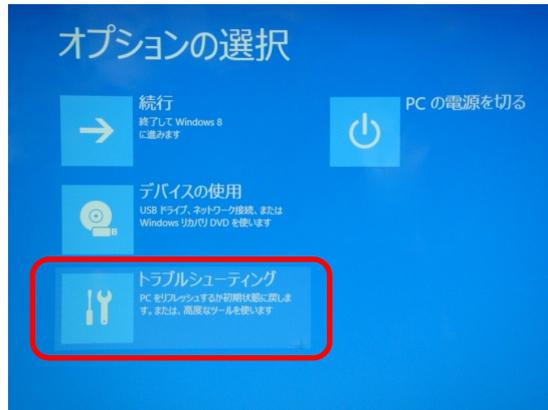
【Windows 8.1の場合】

PC設定の画面上で「保守と管理」をクリックします。
保守と管理の画面上で「回復」をクリックします。画面右下にある「今すぐ再起動する」をクリックします。

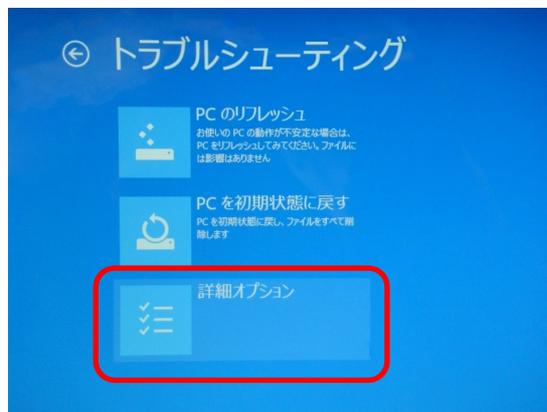


3. ドライバー署名の強制を無効にする

- ⑤ オプションの選択画面上で「トラブルシューティング」をクリックします。



- ⑥ トラブルシューティング画面上で「詳細オプション」をクリックします。

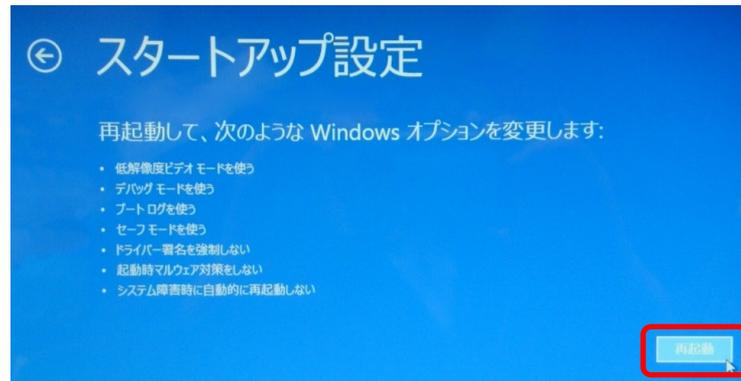


- ⑦ 詳細オプションの選択画面上で「スタートアップ設定」をクリックします。

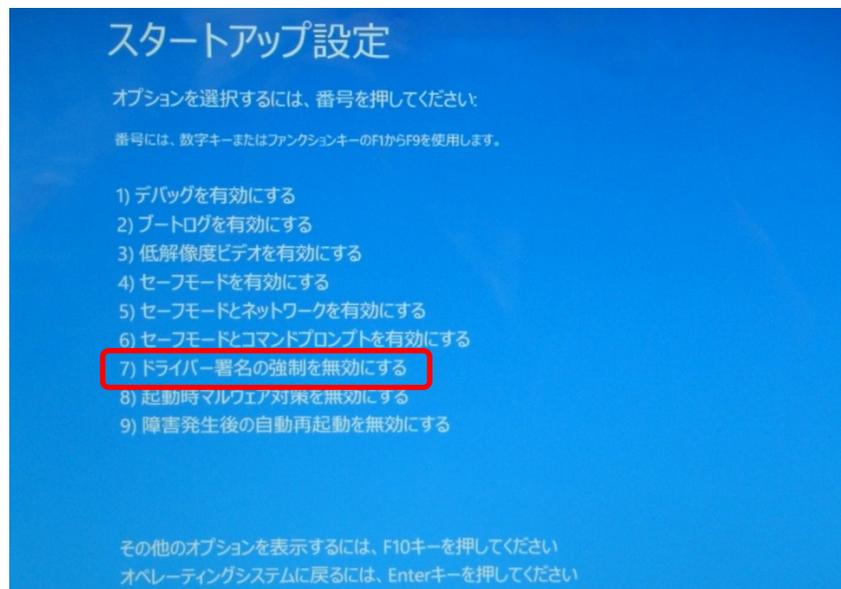


3. ドライバー署名の強制を無効にする

- ⑧ スタートアップ設定画面上で「再起動」をクリックします。



- ⑨ スタートアップ設定画面上で「7」キーまたは「F7」キーを押してください。



以上で設定は完了です。

ここで行った「ドライバー署名の強制を無効にする」の設定は、パソコンを再起動すると自動で元の設定（有効）に戻ります。

4. USBドライバーのインストール

USBドライバーのインストール手順は次の通りです。

- ① 表示ユニットとパソコンの電源が入っている状態で、表示ユニットとパソコンをUSBケーブル（A-miniBタイプ）で接続します。



- ② デスクトップ画面上で  (Windows キー) +  (I (アイ) キー) を同時に押します。

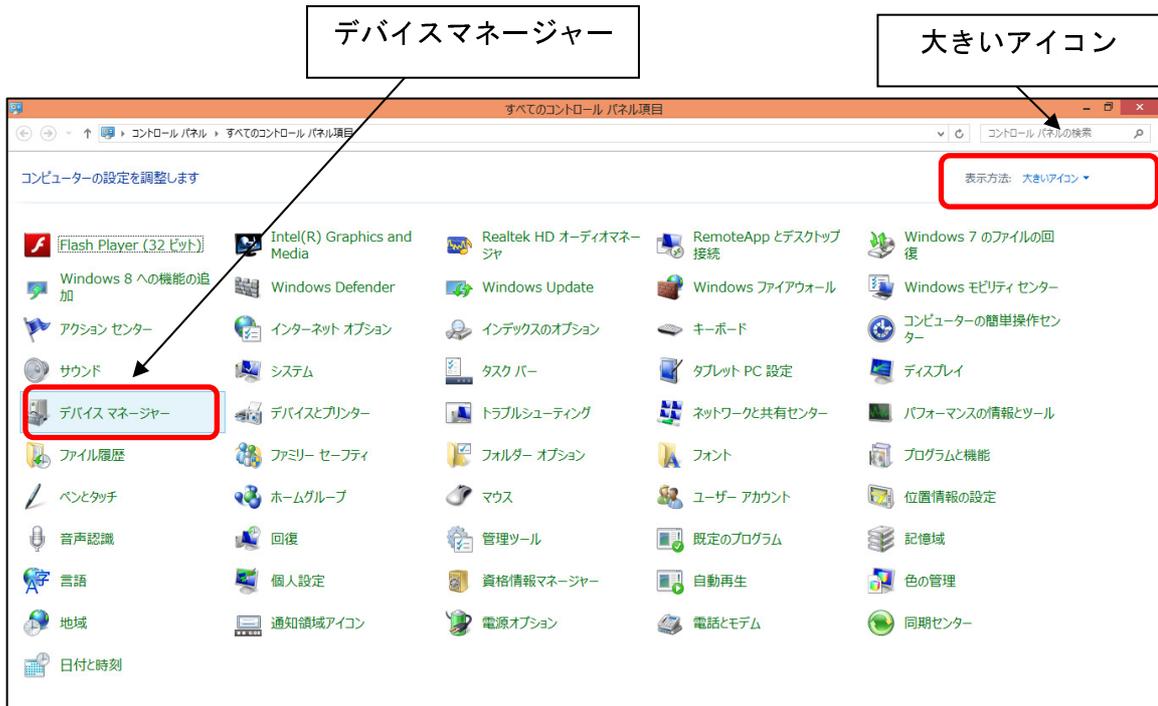


- ③ 画面右側に設定チャーム画面が表示された後、「コントロールパネル」をクリックします。

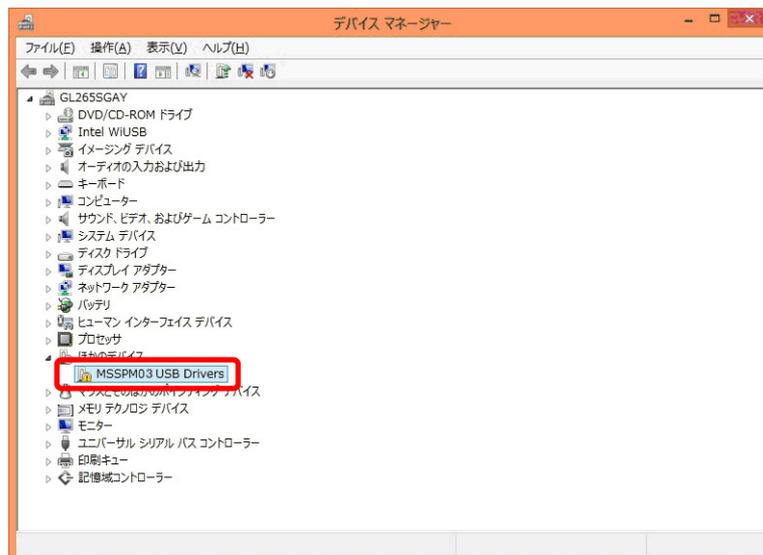


4. USBドライバーのインストール

- ④ 表示方法で「大きいアイコン」を選択し、「デバイスマネージャー」をクリックします。

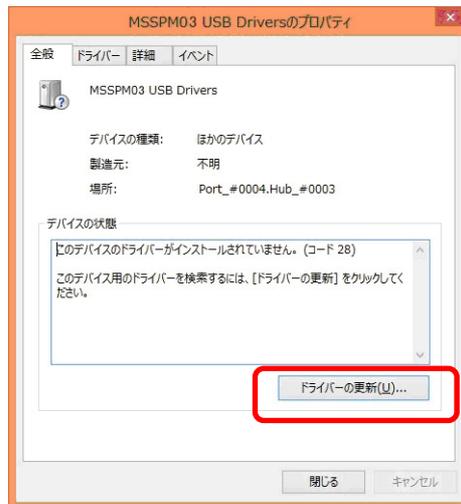


- ⑤ デバイスマネージャー画面が表示されたら、「ほかのデバイス」をクリックし、「MSSPM03 USB Drivers」をダブルクリックします。

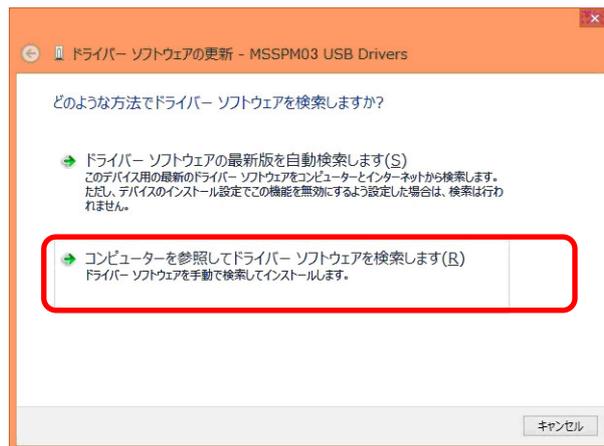


4. USBドライバーのインストール

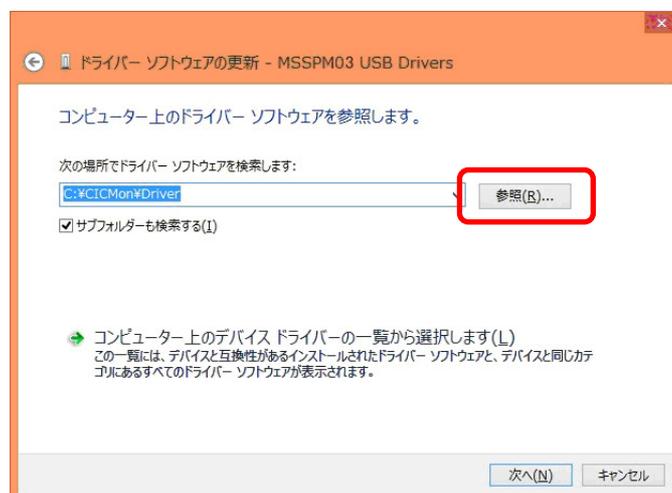
- ⑥ プロパティ画面が表示されたら、「ドライバーの更新(U)」をクリックします。



- ⑦ ドライバーソフトウェアの更新画面が表示されたら、「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)」をクリックします。

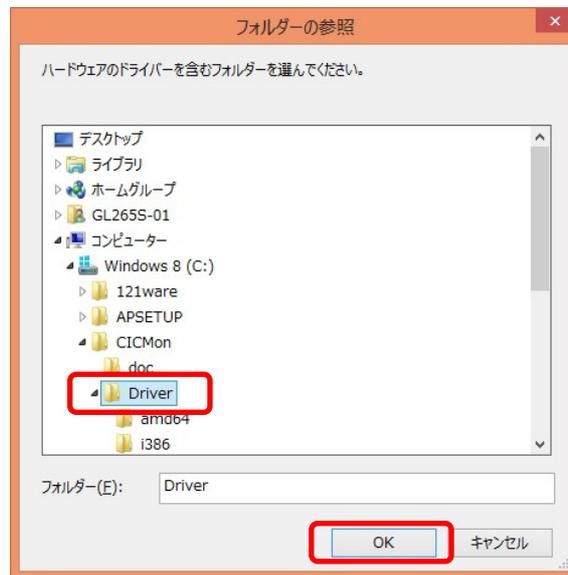


- ⑧ ドライバーソフトウェアの参照画面が表示されたら、「参照(R)」をクリックします。

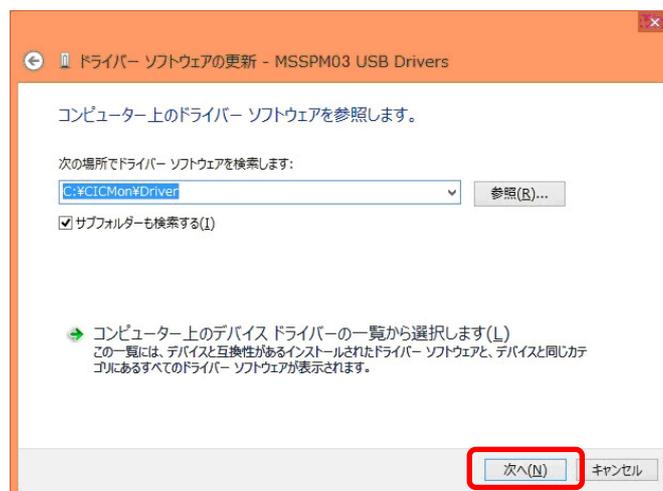


4. USBドライバーのインストール

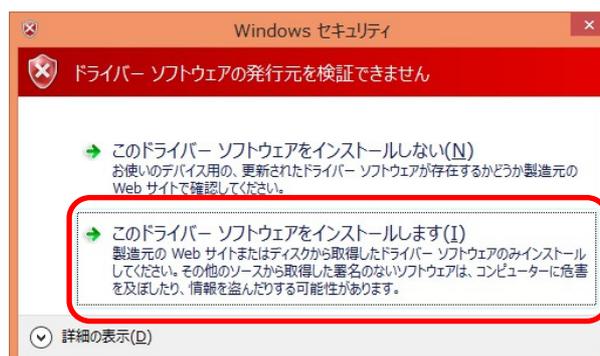
- ⑨ フォルダの参照画面が表示されたら、Cドライブ内の「CICMon3」フォルダの中にある「Driver」フォルダを選択し、「OK」をクリックします。



- ⑩ 再度ドライバーソフトウェアの参照画面が表示されたら、「次へ(N)」をクリックします。



- ⑪ Windows セキュリティ画面が表示されたら、「このドライバーソフトウェアをインストールします(I)」をクリックします。



4. USBドライバーのインストール

- ⑫ インストール終了画面が表示されたら、「閉じる(C)」をクリックします。



以上でUSBドライバーのインストールは完了です。

5. エネルギーモニタユーティリティ 3 の操作方法

エネルギーモニタユーティリティ 3 の操作方法について説明します。

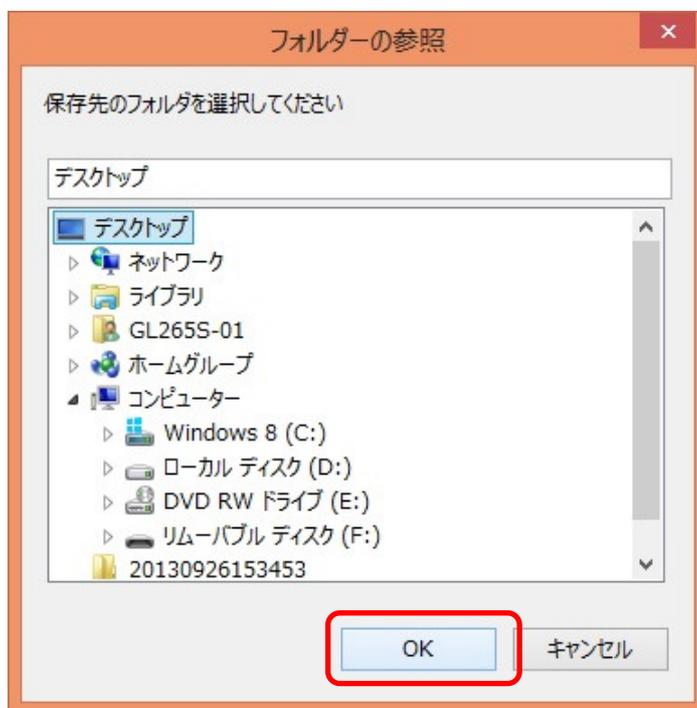
- ① インストール時にデスクトップに作成された「エネルギーモニタユーティリティ 3.0」をクリックします。



- ② 操作画面が表示されたら「ダウンロード(D)」をクリックします。



- ③ 履歴データの保存先を選択します。「OK」をクリックすると履歴データが保存されます。



5. エネルギーモニターユーティリティ 3 の操作方法

- ④ 指定した場所にフォルダが保存されます。フォルダ名はダウンロードした時の日時です。
(例：2014年12月9日19時37分57秒)

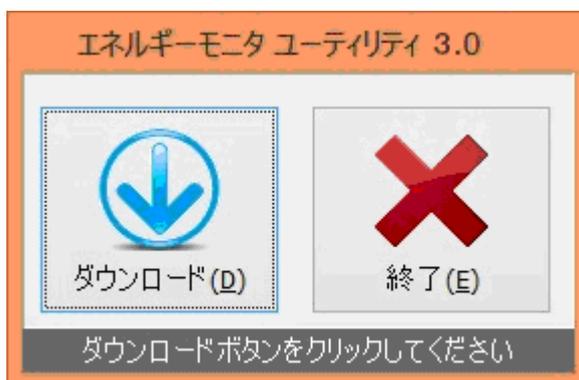


フォルダの中には次の3つのCSVファイルが入っています。

	ファイル名	データ記録間隔	データ範囲
日間データ	年+月+日+時刻+日間.csv	1時間	32日間
月間データ	年+月+日+時刻+月間.csv	1日間	13ヶ月間
年間データ	年+月+日+時刻+年間.csv	1ヶ月間	10年間

CSVファイルは表計算ソフト (Excel) で開くことができます。

- ⑤ 終了する場合は「終了(E)」をクリックします。



6. アンインストール方法

エネルギーモニタユーティリティ3をアンインストールする場合は次の操作を行ってください。

- ・ USBドライバーのアンインストール
- ・ ソフトウェアのアンインストール

6-1. USBドライバーのアンインストールについて

- ① パソコンと表示ユニットをUSBケーブルで接続した状態にしてください。

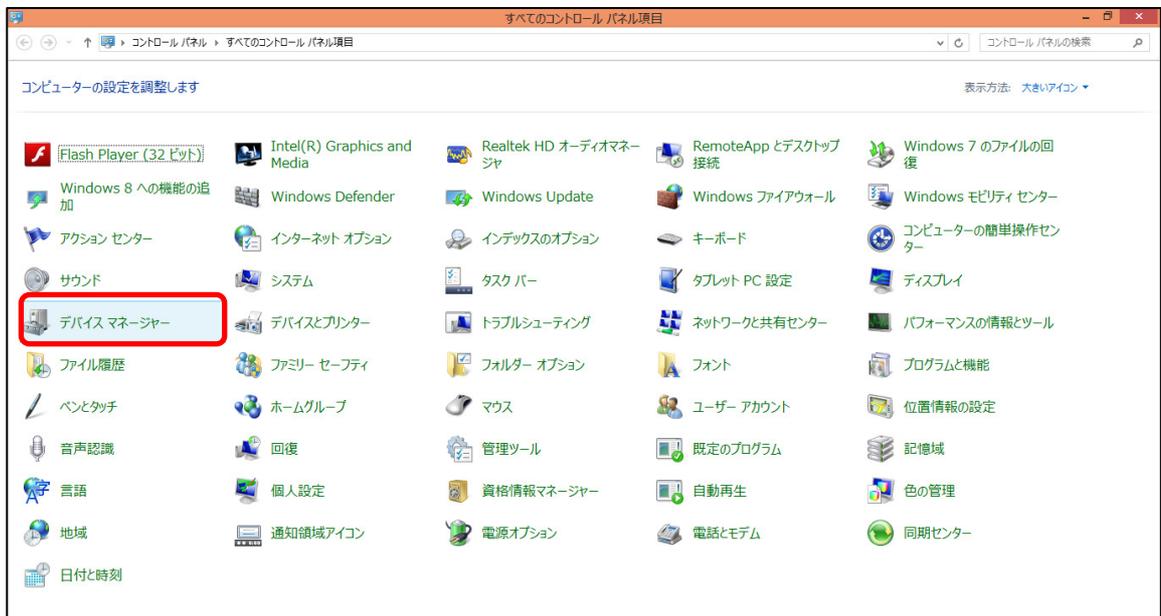


- ② デスクトップ画面上で Windows キー + I (アイ) キー ( + ) を同時に押します。設定チャーム画面が表示されたら「コントロールパネル」をクリックします。

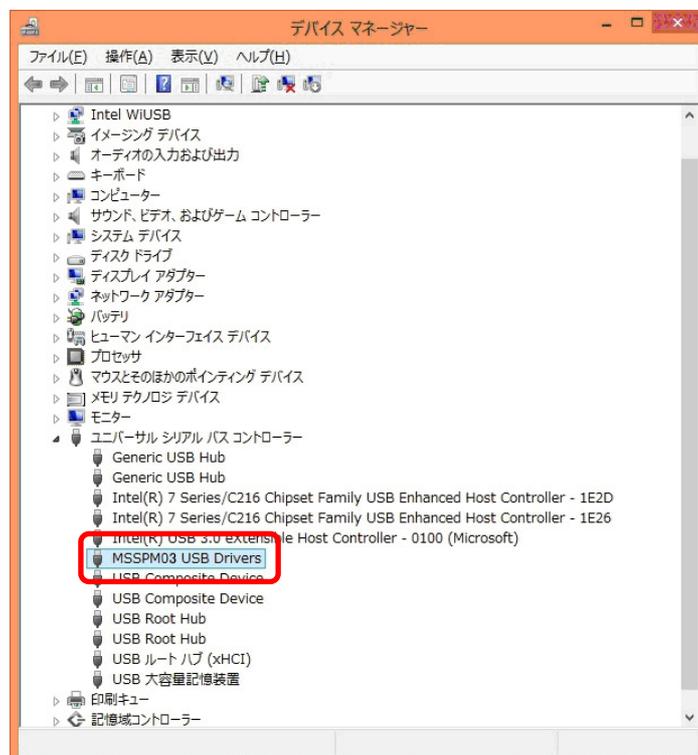


6. アンインストール方法

- ③ コントロールパネル画面の「デバイスマネージャー」をクリックします。

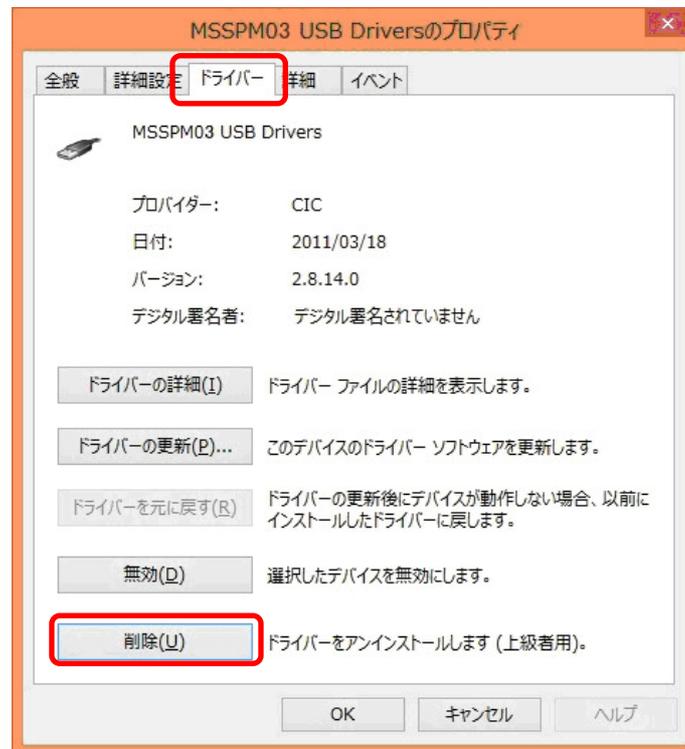


- ④ デバイスマネージャー画面が表示されたら、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」の中にある「MSSPM03 USB Drivers」をダブルクリックします。



6. アンインストール方法

- ⑤ プロパティが表示されたら「ドライバー」タブをクリックし、「削除(U)」をクリックします。



- ⑥ デバイスのアンインストールの確認画面が表示されたら、「このデバイスのドライバーソフトウェアを削除する」にチェックし、「OK」をクリックします。

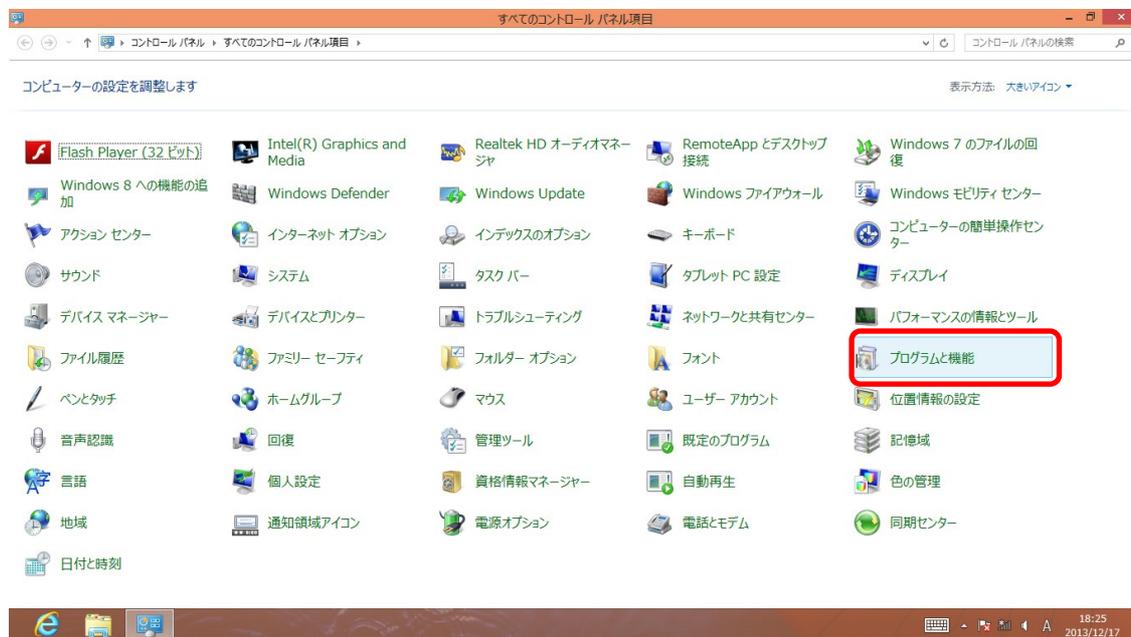


以上でUSBドライバーのアンインストールは完了です。

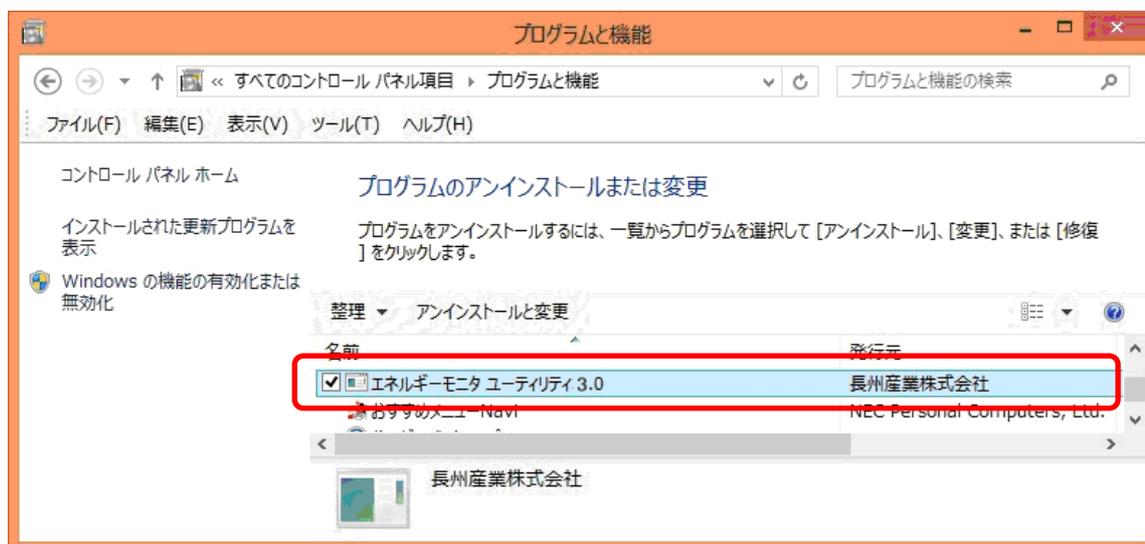
6. アンインストール方法

6-2. ソフトウェアのアンインストールについて

- ① コントロールパネルより「プログラムと機能」をクリックします。

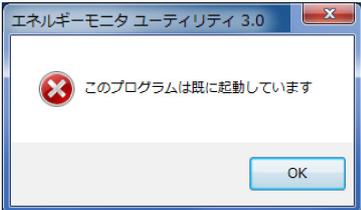
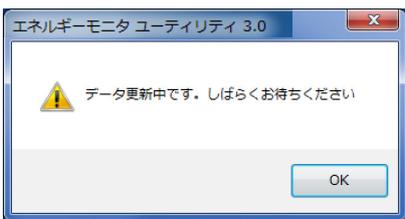
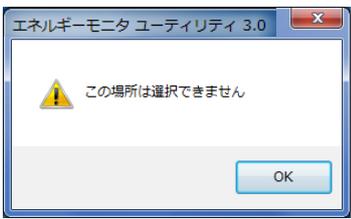


- ② プログラムと機能画面が表示されたら、「エネルギーモニターユーティリティ 3.0」を選択しアンインストールを実行します。

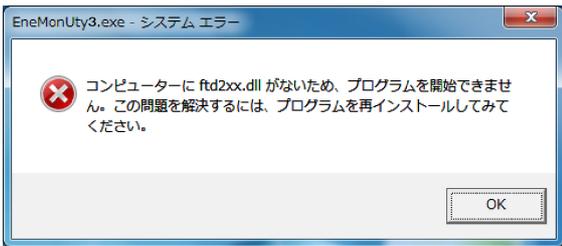


以上でエネルギーモニターユーティリティ 3 のアンインストールは完了です。

7. トラブルシューティング

(1)	履歴データがダウンロード出来ない。	履歴データをダウンロードするためにはUSBドライバをインストールする必要があるがあります。 手順に従ってUSBドライバをインストールしてください(9ページ)。
(2)	次の画面が表示される。 	エネルギーモニターユーティリティ3を起動しているときに、再度エネルギーモニターユーティリティ3を起動すると表示されます。
(3)	次の画面が表示される。 	① 表示ユニットの電源がOFFのときや異常発生時に、エネルギーモニターユーティリティ3の【ダウンロード】をクリックすると表示されます。 ② パソコンと表示ユニット本体がUSBケーブルで接続されていないときに、エネルギーモニターユーティリティ3の【ダウンロード】をクリックすると表示されます。
(4)	次の画面が表示される。 	① 表示ユニットがスプラッシュ画面表示中にエネルギーモニターユーティリティ3の【ダウンロード】をクリックすると表示されます。 ② エラー画面中に、エネルギーモニターユーティリティ3の【ダウンロード】をクリックすると表示されます。
(5)	次の画面が表示される。 	エネルギーモニターユーティリティ3の【ダウンロード】をクリックした後、ファイルの保存先を「DVD-RW ドライブ」などファイルが保存できない場所を選択して【OK】ボタンをクリックすると表示されます。
(6)	USBドライバがインストールできない。 USBケーブルを差し込んでもインストール画面が表示されない。	USBドライバのインストール画面が表示されない場合は、パソコン側のUSBケーブルをパソコンの別のUSBコネクタに差し込んでください。改善されない場合はパソコンを再起動してください。

7. トラブルシューティング

(7)	USBドライバーをインストールしたのに再度インストール画面が表示された。	最初にインストールした際のパソコン側のUSBコネクタとは別のUSBコネクタに差し込んだ場合、再度インストール画面が表示されます。インストールを行ったUSBコネクタにケーブルを差し込んでください。
(8)		USBドライバーをインストールせずにエネルギーモニターティリティ3を起動しようとすると表示されます。USBドライバーをインストールしてください。
(9)	『setup.exe』を実行後、デスクトップにショートカットアイコンが作成されない。	Administratorユーザーまたは管理者権限のあるユーザーでログインしてください。